

早期水稲における紋枯病の薬剤防除							
<p>〔要約〕 <u>早期水稲の紋枯病</u>に対しては、多発生の場合でも出穂期に<u>モンセレン粉剤DL</u>及び<u>バリダシン粉剤DL</u>を散布すると効果が高い。<u>モンカット粉剤DL</u>、<u>モンガード粉剤DL</u>及び<u>バシタック粉剤DL</u>は予防的に散布する。</p>							
生産環境研究所・病害虫部・普通作物病害虫研究室					連絡先	092-924-2938	
部会名	農産	専門	作物病害	対象	稲類	分類	普及

〔背景・ねらい〕

本県における水稲の早期栽培では、最高分けつ期から穂ばらみ期が梅雨時期の高温多湿期にあたる。さらに、出穂期以降も収穫期まで高温が続くため紋枯病が多発し、被害も大きくなりやすい。そこで、早期水稲における紋枯病の薬剤防除適期を明らかにするとともに、本病に効果的な防除薬剤を選定する。

〔成果の内容・特徴〕

- ①早期水稲における紋枯病の防除適期は、出穂1週間前から出穂1週間後にあたる時期である（表1）。
- ②多発生の場合でも、出穂期にモンセレン粉剤DLまたはバリダシン粉剤DLを10a当たり4kg散布すると、高い治癒効果がある（表2）。
- ③モンカット粉剤DL、モンガード粉剤DL及びバシタック粉剤DLなどの粉剤は10a当たり4kg散布すると、本病の進展を阻止する効果がある（表2）。

〔成果の活用面・留意点〕

- ①病害虫防除基準に記載し、早期水稲の紋枯病の適期防除に活用する。
- ②モンカット粉剤DL、モンガード粉剤DL及びバシタック粉剤DLは本病の進展を阻止する効果が主となるので、出穂期よりも早めに予防的に散布する。

[具体的データ]

表1 モンガード水和剤の散布時期別防除効果(平成2年)

散布時期	発病株率 (%)	病斑高率 (%)	全体の被害度
出穂12日前	14.3 ab	44.5 ab	10.5
” 7日前	9.0 a	47.3 bcd	5.9
出穂期	17.3 bc	32.0 d	6.7
出穂7日後	20.0 c	34.4 cd	9.2
無散布	44.7 d	55.5 a	53.7

注) ①同一英小文字はダンカンの検定(5%水準)で有意差がないことを示す。

②調査は出穂28日後に行った。

表2 紋枯病に対する各種薬剤の防除効果(平成4年)

散布薬剤	散布前(出穂3日後)調査			出穂32日後調査		
	発病株率 (%)	病斑高率 (%)	全体の被害度	発病株率 (%)	病斑高率 (%)	全体の被害度
モンセリン粉剤DL	28.7	26.1 a	2.6	2.0	32.1 a	0.4
ハリアグン粉剤DL	26.7	24.6 a	2.6	1.3	43.7 abcd	0.5
モンカット粉剤DL	24.0	26.4 a	2.5	18.0	40.6 ab	5.9
モンカート粉剤DL	29.3	26.5 a	3.2	28.0	44.0 abcde	10.8
バンタック粉剤DL	36.7	25.2 a	2.8	40.0	41.4 abc	13.8
無散布	26.7	27.1 a	3.3	66.0	48.5 bcde	30.1

注) ①同一英小文字はダンカンの検定(5%水準)で有意差がないことを示す。

[その他]

研究課題名: 紋枯病の発生生態と防除法

予算区分: 経常

研究期間: 平成4年度(平成2~4年)

研究担当者: 松本幸子

発表論文等: 平成2~4年度生産環境研究所病害虫部普通作物病害虫研究室試験成績書